

CASBEE-広島（2010年ver.1）

渚ガーデン八番館

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階											
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体			
						評価点	重み係数	評価点	重み係数				
Q 建築物の環境品質										3.0			
Q1 室内環境							0.40			3.8			
1 音環境						1.4	0.15	1.6	1.00	1.6			
1.1 騒音						2.0	0.40	2.0	0.40				
1 暗騒音レベル		2.0	1.00			2.0	1.00						
2 防振・防振対策			-				-						
1.2 遮音						1.0	0.40	1.6	0.40				
1 開口部遮音性能		1.0	1.00			1.0	0.30						
2 界壁遮音性能			-			3.0	0.30						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			1.0	0.20						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			1.0	0.20						
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20				
2 温熱環境								3.0	0.35		5.0	1.00	4.8
2.1 室温制御						3.0	0.50	5.0	1.00				
1 室温設定		3.0	0.63			-	-						
2 防振・防振対策			-				-						
3 外皮性能		3.0	0.38			5.0	1.00						
4 ゾーン別制御性			-				-						
5 温度・湿度制御			-				-						
6 個別制御			-				-						
7 時間・季節に応じた配慮			-				-						
8 防振対策			-				-						
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-				
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-						
3 光・視環境						3.0	0.25	3.5	1.00	3.4			
3.1 屋光利用				2.0%以上		3.0	0.43	4.0	0.50				
1 屋光率		-	-			5.0	0.50						
2 方位別開口			-				0.30						
3 屋光利用設備		3.0	1.00			3.0	0.20						
3.2 グレア対策						-	-	3.0	0.50				
1 防振・防振対策			-				-						
2 屋光制御		-	-			3.0	1.00						
3.3 照度						3.0	0.21	-	-				
1 照度		3.0	1.00			-	-						
2 防振・防振対策			-				-						
3.4 照明制御				3.0	0.36	-	-						
4 空気質環境				換気量1.4倍以上確保		4.6	0.25	4.2	1.00	4.2			
4.1 発生源対策				換気量1.4倍以上確保		5.0	0.60	5.0	0.63				
1 化学汚染物質		5.0	1.00			5.0	1.00						
2 防振・防振対策			-				-						
3 防振・防振対策			-				-						
4 防振・防振対策			-				-						
4.2 換気						4.0	0.40	3.0	0.38				
1 換気量		5.0	0.50			5.0	0.33						
2 自然換気性能			-			1.0	0.33						
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33						
4 防振・防振対策			-				-						
4.3 運用管理							-		-				
1 CO ₂ の監視			-				-						
2 喫煙の制御			-				-						
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.9			
1 機能性						1.0	0.40	3.2	1.00	2.9			
1.1 機能性・使いやすさ				100Mbitのブロードバンドが整備		1.0	0.60	4.0	0.60				
1 広さ・収納性			-				-						
2 高度情報通信設備対応			-			4.0	1.00						
3 バリアフリー計画		1.0	1.00				-						
1.2 心理性・快適性						1.0	0.40	2.0	0.40				
1 広さ感・景観			-			3.0	0.50						
2 リフレッシュスペース			-				-						
3 内装計画		1.0	1.00			1.0	0.50						
1.3 維持管理									-			-	
1 維持管理に配慮した設計			-						-				
2 維持管理用機能の確保			-		-								
2 耐用性・信頼性						3.0	0.31		-	3.0			
2.1 耐震・免震						3.0	0.48		-				
1 耐震性		3.0	0.80				-						
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-						
2.2 部品・部材の耐用年数						2.9	0.33		-				
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.09				-						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15				-						
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				-						

	2.3 設備の更新					-		-	
	2.4 信頼性				3.2	0.19		-	
	1	空調・換気設備			3.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備			3.0	0.20		-	
	3	電気設備			3.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備	光ケーブル対応、精密機器の浸水の危険性がない		4.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性				3.0	0.29	2.8	1.00	2.8
	3.1 空間のゆとり					-	2.6	0.50	
	1	階高のゆとり				-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ				-	2.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり					-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性				3.0	1.00		-	
	1	空調配管の更新性			3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性			3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性			3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性			3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性			3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース			3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40		-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	-	4.6
1 建物の熱負荷抑制				5.0	0.40		-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20		-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50		-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50		-	-	
3 設備システムの高効率化		エコキュート等の高効率の機器の採用		5.0	0.40		-	-	5.0
4 効率的運用					-		-	-	-
4.1 モニタリング					-		-	-	
4.2 運用管理体制					-		-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.15		-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用				3.0	0.60		-	-	
1		雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	-	
2		雑排水再利システム導入の有無			-		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				2.8	0.63		-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20		-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.05		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み				3.0	0.24		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22		-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.68		-	-	
1		消火剤	ハロン消火剤を使用していない	4.0	0.33		-	-	
2		断熱材		3.0	0.33		-	-	
3		冷媒		3.0	0.33		-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が少ない		3.5	0.33		-	-	3.5
2 地域環境への配慮				2.3	0.33		-	-	2.3
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.3	0.25		-	-	
1		雨水排水負荷低減		-	-		-	-	
2		汚水処理負荷抑制		3.0	0.33		-	-	
3		交通負荷抑制		3.0	0.33		-	-	
4		廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33		-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-	-	
1		騒音		3.0	1.00		-	-	
2		振動		-	-		-	-	
3		悪臭		-	-		-	-	
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-	-	
1		風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2		日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-	-	
1		屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	-	
2		屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	